

# 徳之島町 町誌編さん だより

## 第3号

2018. 11. 10

### 町制施行 60 周年記念誌『徳之島町』が刊行！

今年、徳之島町では、町制が施行されて60周年の節目を迎えました。これを記念して、町のこれまでのあゆみを知ることができるように、記念誌『徳之島町』〈非売品〉が刊行されました。

内容は、「1、町のすかた」「2、徳之島町の誕生」「3、町のあゆみ」「4、資料編」「5、徳之島町の自然」「6、記録写真」「7、小中学校作文コンクール入賞作品」となっており、文書記録や年表をまじえながら、町郷土資料館が所蔵している資料や町誌編さん室が調査・収集してきた写真資料が使用されました。

記念誌は、10月20日（土）に町文化会館において行われた式典の際に出席者に配布されました。すでに配布は終わっていますが、まだ詳しい内容をご存知ない方は、町立図書館をはじめ、町内の小・中学校等に配布されているものをご覧ください。

#### 【町誌調査ノート】 尾母集落のアキムチ(秋餅)と青年団の活動

9月22日（土）の19時ごろから、尾母集落で伝統行事であるアキムチが行われました。アキムチは徳之島島内各地で見られる「ムチたまね」などとよばれる豊作感謝・祈願祭の一つで、「イッサンポー」というカカシを掲げ、新しく集落に越してきた家や集落のいたるところで「どんどん節」を歌い踊ります。その際に、集落の家々からお菓子やムチ（餅）をもらい集め、最後に高台にある「ショウゴウ(溝川)神社」の境内から人々に向かってお菓子やムチを投げて配ります。



▲集落をまわる前に、神社にお参りをする青年団（2018年、上迫 愛氏提供）



▲尾母のイッサンポー（2016年、大村達郎提供）

青年団としては、あらかじめアキムチで用いられる「たいまつ」の準備や、「どんどん節」の練習をします。「たいまつ」は竹を使うのが特徴です。竹は、尾母の竹林から採ります。竹は加工がしやすいため、尾母小中学校の生徒にも「たいまつ」づくりを体験してもらっています。アキムチで唄う「どんどん節」は島口で唄われるため、今の若い世代は、残念ながら歌詞を見ないと唄えません。このままでは、「どんどん節」を継承することができなくなると考え、数年前から青年団で集まり唄の練習をするようになりました。イッサンポー（かかし）は毎年作るのではなく、傷みがひどい場合に作り直しているそうです。骨組みは竹で、回りにワラを巻き付け、その上に浴衣を着せます。顔はタオルに目や鼻を描いて、麦わら帽子をかぶせます。ちなみに、今のイッサンポーは10年ほど前から作り直されていません。また、イッサンポーは青年団長が持ち、行列の先頭に立って歩きます。

アキムチの最後は、青年団が溝川神社から集落の人たちから頂いたお菓子などを、下の広場に待機している参加者に向かって投げて、感謝の気持ちを伝えます。投げる際は、当たったら怪我をする可能性がある堅いものやムチなどは、あらかじめ選別して投げないようにしています。

今年のアキムチも、青年団と地域の方々や尾母小中学校の生徒・児童が協力し、地域の皆が参加することができました。今後も引き続き、伝統行事であるアキムチを後世に残せるように努力し、誰もが参加できるように目指していこうと思います。

（町誌編さん室主事補・東 慶久<sup>ひがし</sup>）

## 町内の小・中学校で資料調査を実施しています

町誌編さん室では、町内に所在している小・中学校において、古くから持ち伝えられてきている文書類や古写真の確認調査を行なっています。なかでも小学校には、明治時代に開校しているところではすでにその創立が120年を迎えています。また中学校でも、昭和23年（1948）に新制中学校が島内に発足して以来、すでに70年を迎えています。それぞれ歴史も長く、校区民の気質とあいまって独自の校風を備えるほどになりました。

小・中学校には、ふだんの学業とは別に、郷土の歴史や伝統を学ぶことを目的に、古い生活用具や写真などの郷土資料が保管されていることがあります。こうした資料は授業などでも利用されていたのを覚えている方も多いことでしょう。また、児童・生徒たちがシマ（集落）での生活をもとに書き記した記録があったり、かつて在職していた先生方が教鞭の合間に記した郷土誌があったりします。さらには集落住民有志の方から、郷土の記録をしたための書籍やレポート、集落の昔の景観や生活の様子を写した写真などが寄贈されていることもあり、いずれも貴重なものとなっています。町誌編さん室では、これらのさまざまな資料を収集・活用して、新たに編さんされる『徳之島町史』が住民の皆さんに少しでも身近な内容をもったものとなるように取り組んでいます。

8月末現在、徳之島町内北部の小・中学校については、先生方よりご協力をいただいたおかげで調査をほぼ終了することができました。今後はひきつづき、中・南部の小・中学校で調査を予定しています。調査に際しましては、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 町誌編さん事業日誌（抄）

年	月 日	内 容
平成30年	9月27日	県立徳之島高校前田記念館所蔵郷土資料受入れ作業（第3回）。
	10月2日～	町誌資料集『徳之島関連基礎資料集（仮題）』に関わる資料整理、および原稿入力作業。 徳之島町誌編集委員会委員委嘱準備。
	10月20日	町制施行60周年記念誌『徳之島町』刊行（編集：徳之島町誌編さん室・発行：徳之島町役場）。 町制施行60周年記念式典開催（於・町文化会館）。

### 今後の予定

年	月 日	内 容
平成30年	12月 日	徳之島町誌編集委員会委員委嘱。および平成30年度編集委員会会議開催。
平成31年	1月 ～	徳之島町誌各専門部会調査員委嘱準備。

※ お手元に古写真や古文書等がありましたら、町誌編さん室へご連絡ください。

## 「徳之島町 町誌編さんだより」 第3号

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

徳之島町生涯学習センター3階（徳之島町郷土資料館内） 電話番号：0997-82-2908

## 徳之島町誌編纂室

本紙編集担当：岩下洋一・大村達郎

※ 徳之島町役場では、条例等の法令名や、事業名・部署名については「編纂（へんさん）」の表記を使用しています。本紙では、発行元名を除いて、町民への広報としての役割から「編さん」の表記で統一しています。ご了承ください。